

2009年(平成21年) 9月11日 金曜日

幸良 糸斤 求王 充王

琉大で泡盛軸に 発酵製品を学ぶ

来月、農商工連携講座

人材育成プログラムの開発・実証に産学連携で取り組む事業を経済産業省が支援する「産学人材育成パートナーシップ事業」で、琉球大学の事業が採択された。琉大が10月から3カ月間実施する、発酵学を中心とした農商工連携を担う人材育成の講義などを対象に、事業費約1700万円を助成する。沖縄総合事務

局が10日発表した。

講義は農学部を対象に実施。泡盛をはじめとした発酵製品の品質向上やブランド化を図るため、県産米の栽培技術の研究、高付加価値化が可能なマーケティング戦略などについて行う。

カリキュラム作成などは農学、医学、工学、観光産業科学の4部が共同で取り組む。学外からも県酒造組合連合会や泡盛マイスター協会、県工業技術センターなどが参加。講師を派遣し、製造技術だけでなく、販売に関する知識も養う講義とする。

本年度の同事業には全国で26件の応募があり、13件を採択した。